

随 想



『 防災対策のすすめ 』

安全環境委員長 宮 村 博 三

(日本道路株式会社 東北支店)

地震だ！未だに、ちょっと揺れが始まると、大きな地震が来るのではないかと思ってしまうのは、私だけでは、ないのではないのでしょうか。

日本は、地形的にも地震、津波、台風、豪雨、竜巻、火山噴火等の自然災害の多い国で、その中でも世界の地震の約2割を占める地震大国として知られております。また、近い将来、大地震の発生が予想されており、地震はいつか必ず、しかもある日突然発生し、その脅威は凄まじいものがあります。

昨年の東日本大震災を通して学んだことは、もはや明治時代以降の災害をベースにした対応策が通用しないこと。そして、千年に一度の津波のために、少しでも高い堤防をと、ハード面の整備をするのは財政的にも無理があります。しかしながら、このたびの震災を契機として、個人及び企業などの防災意識は高まっており、私自身も、身近で出来る防災対策の必要性をひしひしと感じています。

わが社の東北支店も、昭和52年5月に4階建ての社屋を竣工し34年が経過し、震災直後に耐震検査をすると、東西の横揺れに弱い構造になっており、耐震補強工事が必要との診断を受けました。新年度には、耐震補強工事を行う予定にしており、まずは、職員が安全で安心して働ける職場環境を提供することが、不可欠な備えと考えております。

(平成24年1月記)